

仲間の帝王学《周南公立大学時代》

一人一人が仲間を思いやり、感謝と思いやりを自分が成長するための推進力にしていくための考え方を「仲間の帝王学」とする。

【仲間の帝王学で大切なもの】

① 感謝

権力は腐敗する。絶対的権力は絶対に腐敗する。という言葉があります。その立場にある人は必ず人に感謝をすることが大切。武士道にある義・勇・仁・礼・誠・名誉を持って、すべてにおいて支えられていることを認識することで、見えているけど見えていないものを探せる感謝力。例えば参加できない仲間を責たり、活動していない仲間を責めてはいけない。仲間になっていくことに感謝しなければならない。

② 思いやり

自分より相手の価値を高めることを常に考え、自慢することなく他人を評価し、仲間のために努力できること。そこには他人の立場になって、その人を育ててくれた人、大切に思っている人の事を考えて、将来、その仲間の課題を放置することなく、現状分析して納得して輝けるように「ナッジ」する行動選択していくことで、思いやり力をみんな育てる楽しさを感じられる仲間に育てなければならない。仲間の事は考えることなく、自分さえ良ければ良いという自己中心的な考えではいけない。

【仲間の帝王学で必要なもの】

③ 信用信頼

自分のことは棚に上げてという言葉があるように、仲間のためにまず自分が率先して手本を見せなければならない。成長するための失敗は必要。仲間には権限の譲渡をして、成長していくことを信頼することで自分の成長につなげる。真の失敗は仲間が成長する未来を信じないことが本当の失敗だと捉え、失敗しても責めてはいけない。

④ 共感

様々な考え方を否定することなく、すべての立場にたって共感しなければならない。そこには仲間を育ててくれた親御さんなど、見えていないバックボーンを考え、様々な立場があることを認め、敬意を払わなければならない。

⑤ 空間づくり

感謝と思いやりを持って、成長するための信用信頼、共感をはぐくむことができる仲間がいる空間を作らなければならない。これにはコミュニケーションである、挨拶が必須のマナーである。

【仲間の帝王学で育てるべき能力】

⑥ 情報収集力

情報をしっかりと収集することで正しい判断ができるようになる努力をやめてはいけない。

⑦ 楽しむ能力

苦行と苦勞の違いを理解して、夢をかなえるための苦勞をする必要がある。

例えば大学入試に向けて塾で勉強する時、医者になりたいなど夢、目標を決めて勉強するのが苦勞、目標もなく嫌々、塾で勉強するのが苦行。この苦勞を楽しむ能力が大切。

⑧ 正しく読む力

成長段階にあると常に自分が正しいはずがないと考え、正しくない方向・考え方に仲間を巻きこむことがないように情報をしっかりと集め、判断は本質にそって考えるように常に成長し続けなければならない。正しく読むには現在ではなく未来、さらに仲間の幸せの上にある、世界全体でみての正しい選択をしていかなければならない。

⑨ 夢を持つ能力

一人一人の夢を確認し、決まっていない仲間には未来の夢と一緒に考える。夢は変更するためであり、否定はしてはいけませんが、言い訳をして立ち止まらないように、サポートできる仲間を持たなければならない。

⑩ 計画を立てる能力

情報収集し、正しく読むとき、未来を予想して、結果をだせる計画にする必要がある。

⑪ 実行する能力

実行する能力はやみくもにしてはいけない。もっと悪いのは石橋をたたき、実行しない選択。もっと良い選択があると常に考え、変更、改善に取り組むことは恥ではない。

⑫ 継続・維持する能力

継続・維持する能力は仲間の力を借りることを大切にできる仲間をつくらなければならない。努力する仲間を応援し評価できる仲間が大切。

【仲間の帝王学で必要なもの】

⑬ 権限を委譲する力

⑭ 決断力

⑮ 聞く力

⑯ 許す力

⑰ 嘘をつかない、裏切らない

⑱ 仲間を大切に思う気持ち

⑲ 礼儀

⑳ 頼る力